

犬の関節參



動物病院名

痛みのサインを
見逃していませんか？



ファイザー製薬株式会社
東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 〒163-0461



◆ 元気な毎日を送るために ◆

人ではよく知られている関節炎は、犬にも起こります。犬の関節炎は、どんな年齢・体重・品種の犬にも起こります。この病気を治療しなかった場合、慢性の痛みのため元気に生活できなくなり、犬のひいてはオーナーのクオリティ・オブ・ライフ（QOL：生活の質）が低下することになります。ですから、もし、あなたの愛犬が関節炎を患っていると感じたら、かかりつけの獣医師に相談してみてください。

なお、リマダイル錠は、犬の関節炎による炎症と痛みを効果的に緩和する消炎鎮痛剤であり、世界各国の獣医師に処方されています。

このパンフレットでは、まず犬の関節炎について説明し、つぎにオーナーであるあなたが、関節炎になった愛犬のためにしてあげられることをご紹介いたします。



◆ 関節炎の症状 ◆

—見つけてあげられるのは、あなただけです—

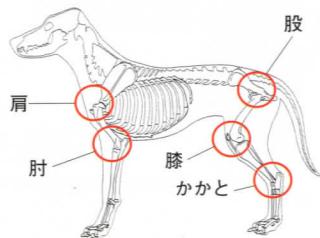
関節炎は、一つまたは複数の関節に起こり、慢性の痛みを伴う病気です。関節炎の痛みの症状には、

- ★ 脚をひきずる
- ★ 起き上がり方がぎこちない
- ★ 歩きたがらない
- ★ 歩くのが遅くなった
- ★ 脚をさわると痛がる
- ★ 階段上りをいやがる
- ★ 動作が鈍くなった
- ★ ジャンプしなくなった
- ★ 以前ほど遊ばなくなったり
- ★ なんとなく元気がない

等があります。

関節炎を患っている犬は、上記のような症状がよく認められます。しかし、関節炎は比較的高齢の犬に多く見られるので、「年齢のせい」と勘違いされることが多いのです。

骨関節炎の好発部位



◆ 関節炎になると… ◆

関節炎は人では珍しくありませんが、成犬においても5頭のうち1頭以上に起こるといわれています。遺伝・外傷・加齢等様々な原因で、関節が不安定になり、異常な負荷がかかると関節炎になりやすいのです。健康な犬では、関節面を保護し滑らかにする機能を軟骨が担いますが、関節炎になると、軟骨が破壊されて、関節がスムーズに動かなくなってしまいます。肥満の犬は、関節に過剰な負荷がかかるので、一般に関節炎になりやすいといえます。

◆ 飼い主のあなたができることは… ◆

関節炎を完治させることはなかなかできません。けれども、愛犬が元気に過ごせるように、関節炎とうまくつきあっていく方法はあります。

関節炎の犬のために、飼主であるあなたに出来る大切なことが4つあります。

1. 関節炎の痛みを緩和するため獣医師の指示により投薬すること
2. 制限運動（緩やかで規則的な運動）をさせること
3. 適正な体重を維持すること
4. 環境の整備に気を配ること

1. 関節炎による痛みを緩和するための投薬

適正な運動をさせ、体重をコントロールするためにも、愛犬の痛みは取除かなければなりません。痛みが緩和されても関節炎が治ったわけではないので、獣医師の指示通りの投薬を必ず守ってください。

2. 制限運動（緩やかで規則的な運動）

関節炎にかかった愛犬を運動させ過ぎてはいけません。激しい運動は、関節に過剰な負担を強いることになるからです。逆に、運動が不足しても関節はこわばり、筋肉が萎縮してしまいます。緩やかで規則的な運動を行うことで、適度に関節を動かし、筋肉を使わせることが大切です。愛犬の適正な運動量については、かかりつけの獣医師にご相談ください。

3. 適正な体重の維持

あなたの愛犬が太りすぎている場合、関節に過剰な負荷がかかるので、関節炎がますます悪化してしまいます。このような場合、適正な減量が必要となります。減量のためには適正な食事（質と量）を家族全員が協力して守ることが何よりも大切です。愛犬の適正な体重と食事の管理については、かかりつけの獣医師にご相談ください。

4. 環境の整備

フローリングの床で生活している犬は、小型・大型犬ともに関節炎が誘発されやすいと言われています。きっかけはフローリングの床の上で滑ったり、ソファーからフローリングの床に飛び降りる時に滑るためです。最近、日本の家でよく見られるフローリングの床には、カーペットを敷くなど住環境への配慮も大切となります。

◆ リマダイル[®]錠は、愛犬の痛みを緩和させる消炎鎮痛剤です ◆

リマダイル[®]錠は非ステロイド系消炎鎮痛剤で、有効成分はカルプロフェンです。これまで世界各国で、犬の関節炎に対する第一選択薬として、500万頭の犬に処方されており、カルプロフェンが犬の関節炎の痛みと炎症の緩和に非常に有効であることが証明されています。

◆ リマダイル[®]錠は安全性の高い薬です ◆

多くの臨床試験と世界中の使用実績から、リマダイル[®]錠は非常に安全性の高い薬剤であることが証明されています。通常の使用による副作用はほとんどありませんが、ごく少数の犬に見られる例としては、食欲異常(不振または亢進)・嘔吐・下痢・元気消失・態度の変化等があります。投薬後に、これらの症状及びいつもと違った変化が認められた場合には、投薬を中止し、必ず獣医師にご相談ください。

◆ つぎの場合には、当院にご連絡ください ◆

- ・他の薬を投与している場合
- ・他の病気がある場合
- ・妊娠中・授乳中の場合
- ・薬剤を投与してアレルギーを起こしたことがある場合

◆ リマダイル[®]錠を使うと… ◆

関節炎の犬に対する臨床試験では、リマダイル[®]錠を使用した犬の70~80%以上で症状の改善が認められています。リマダイル[®]錠は、関節炎による炎症の進行を抑制し、痛みを緩和させる効果があるので、愛犬が再び活動的になりクオリティ・オブ・ライフ (QOL: 生活の質) が向上します。

リマダイル[®]錠に対する反応は様々ですが、ほとんどの関節炎の例で有効な結果が得られています。しかしながら、症状が改善されても関節の病変は治っていないことを忘れないでください。これはとても重要なことです。つまり、治ったように見えたからといって投薬を止めてしまえば、また関節炎が悪化してしまう可能性があるのです。

◆ 飼い主であるあなたの役割 ◆

関節炎は一度始まると完全には治せないので、生涯つき合っていかなければなりません。治療を成功させるためには、飼主であるあなたの役割が非常に重要です。

(犬以外の動物には使用しないでください)

